OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ごあいさつ
Author(s)	松本, 圭史
Citation	癌と人. 2005, 32, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23735
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ご あ い さ つ

理事長　松　本　圭　史*

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は，財団法人大阪癌研究会に対し，格別のご支援，ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様で，当財団の前身である「大阪癌治療研究会」が昭和10年に設立されて以来，約70年の歴史を積み重ねてまいりました。

この間，ラジウムによる癌の治療研究，乳癌や大腸癌の早期発見のための検診，癌に関する研究の奨励助成，癌予防のための知識普及等の事業に果たしてきた成果は，この財団をご支援くださった賛助会員や役員をはじめ多くの方々のお陰と改めてここに感謝の意を捧げたく存じます。

しかしながら，これらの活動のなかで，ラジウムによる癌の治療研究と検診事業については，医療機関や自治体が実施することで普及定着したことにより，本財団の使命は果たし得たものとして，昭和39年にラジウムによる治療研究を，また，平成6年には検診事業をそれぞれ終了いたしました。

現在では，設立当時の目的を尊重しつつ，時代の経過と共に活動内容を見直し，主に

1　「一般学術研究助成事業」として，全国の癌研究機関に所属する研究者から，癌に関する基礎的・臨床的研究を公募し，優秀な研究に研究費の助成

2　「癌シンポジウム・講演会等の助成事業」として，癌に関するシンポジウム・講演会・研究会等の開催経費の一部助成

3　「癌の知識の普及事業」として，会誌「癌と人」を年1回刊行し，一般市民も閲覧できるよう無償配布

等の事業に堅実な活動を続け，地道ながらその成果を上げております。

これからも，引き続きこれらの事業を通じて癌医学の発展に貢献し，人類の悲願であります癌の撲滅に向かって，本財団の社会的使命を果たしたいと念じておりますので，今後とも本財団の運営に皆様方の力強いご支援とご協力をお願い申し上げる次第であります。

---

*（財）大阪癌研究会理事長，大阪大学名誉教授